

# I C Tを活用した教育の推進

## I C T機器の整備状況

- 令和5年度までに段階的に整備予定であった**1人1台端末整備を前倒し、令和2年度で完了**
- **無線LANアクセスポイント**の全普通教室設置は、**令和2年度で整備完了**

## I C T活用による主な取組

基盤的なツールとしてI C Tを日常的に活用

- **デジタルドリル**を活用し、個に応じた学習の充実
- いじめ・不登校などの未然防止・早期発見・迅速な対応の実現（「心の天気」の活用、いじめアンケート等のオンライン化、相談申告機能の追加など）
- 不登校児童生徒への学習機会の提供

## I C T活用の実現に向けた主な学校支援

コールセンター

電話やF A Xで機器についての質問対応

I C T教育アシスタント

I C T機器の操作支援や授業準備

I C T教育推進アドバイザー

I C T機器を活用した授業への指導助言

教員研修

新任・2年目・5年次・中堅のキャリアステージに応じた研修  
教員のスキルに応じた研修

# デジタルドリルの導入について①

「ナビマ」

凸版印刷株式会社

(総合評価一般競争入札により選定)

【対象学年】小学1年生～中学3年生

【教科】国語、社会、算数・数学、理科、英語

## 教材の内容について

教科	特長
国語	<ul style="list-style-type: none"><li>○文の構造を頼りにその意味を適切に理解する力を育成する読解ドリル</li><li>○語彙の獲得をめざした漢字ドリル</li></ul>
算数・数学	<ul style="list-style-type: none"><li>○個別最適化された自動問題出題</li><li>○教科書の設計に合わせた問題構成</li><li>○様々な問題・解答方法に対応した教材</li></ul>
理科・社会	<ul style="list-style-type: none"><li>○教科書に準拠した「考える力」を伸ばす探究教材</li><li>○「基礎知識」を身につけるドリル</li></ul>
英語	<ul style="list-style-type: none"><li>○音声・文字・意味がつながりあった英語習得を実現するドリル</li><li>○4技能を文法項目ごとに学習するドリル</li></ul>

# デジタルドリル導入について②

## 学習機能について

- 誤答に応じて、遡った問題を自動的に出題
- キーボード入力・手書き入力両対応
- 手書きメモ機能を活用して、思考の過程を記録
- 自動採点され、即時に正答結果を確認可能
- トロフィーやコインを獲得しながら学習を進めることで、学習意欲を向上



## 管理用ツールについて

- 学級単位・個人単位でリアルタイムに学習履歴が反映
- 学年・学級等のグループ全体、および児童生徒個人単位に選択したドリルの配信が可能
- 問題作成機能
- メッセージ・コメント機能



## スケジュールについて

令和3年夏季休業期間中  
**令和3年8月25日**

教員向け研修の実施  
**デジタルドリルの運用開始**